



原子力産業新聞

2014年7月10日
平成26年(第2726号)
毎週木曜日発行
購読料1年分前金(消費税、国内送料込)
会 員 9,500円(1部220円)
非会 員 15,000円(1部350円)
(当会会費は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895
電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ <http://www.jaif.or.jp/> メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

新基準施行から1年

9社19基が申請中

審査の先行き不透明で長期化を懸念

八日で、原子力発電所の新規規制基準が施行されて一年を経た。新基準適用の先行き不透明で、長期化を懸念する声がある。先行き不透明で、長期化を懸念する声がある。先行き不透明で、長期化を懸念する声がある。

設置者名	施設名	炉型
(平成25年7月8日申請)	北海道電力 泊1~3	PWR
関西電力 大飯3、4	PWR	
" 高浜3、4	PWR	
四国電力 伊方3	PWR	
九州電力 川内1、2	PWR	
(平成25年7月12日申請)	九州電力 玄海1、2	PWR
(平成25年9月27日申請)	東京電力 柏崎刈羽6、7	ABWR
(平成25年12月25日申請)	中国電力 島根2	BWR
(平成25年12月27日申請)	東北電力 女川2	BWR
(平成26年2月14日申請)	中部電力 浜岡4	BWR
(平成26年3月20日申請)	日本原子力発電 東海第二	BWR
(平成26年6月10日申請)	東北電力 東通1	BWR

凍結能力強化求める

規制委・検討会 福一の止水工事

原子力規制委員会の福島第一原子力発電所廃止措置に関する監視・評価検討会は七日、東京電力が海水配管トレンチ内の汚染水除去に向け実施する止水工事について説明を受けた。

これは、タービン建屋と海水配管トレンチの接続部を分離する方法として、凍結による止水を行うもので、地上部から凍結管とパッカー(ナイロン製の袋で止水壁となる)を挿入し、パッカー内にセメントとベントナ

リアで来た」として、九州電力の川内1、2号機が、優先的に審査を進めるプランとなっている。五月末に行われた衆院特別委員会では有識者から、事業者とのコミュニケーション不足や審査期間の長期化が指摘されており、再稼働をめぐる課題は少なくない。審査体制を強化することも求められている。

福島県知事選 10月26日に告示は9日

福島県選挙管理委員会は八日、佐藤雄平知事の任期満了に伴う県知事選を十月九日告示、同二十

メキシコとの協定交渉協議

日本とメキシコの原子力協定締結交渉が九日、メキシコシティで行われる。両国関係省庁の出席のもと、協定の内容に関して協議する。

はもとより、温暖化問題など、国際的な責任に連なるという現実がある。安全性とも深く関連する

相馬市をブータン首相ら訪問

ブータンのT・トプゲル首相ら十名が二日、福島県相馬市を訪問し、子どもたちの交流や市内復興状況視察などを行った。核小中学校では、六年生の英語の授業を視察し、ワンチュク国王夫妻からの「訪問時の思いを懐かしみ、いつも気にかけている」とのメッセージを寺岡弘之・同校長に伝えた。また、市

適合審査状況踏まえて審査の方針

原子力規制委員会は二日、運転開始から三十年を経過する九州電力の川内原子力発電所1号機の高経年化対策について、現在同炉に対して行われている新基準適合性審査の状況を踏まえつつ審査を進めることを示した。川内1号機については、一三年七月に新基準

福一・5号機の配管に漏えい

東京電力は六日、福島第一原子力発電所5号機第一原子力炉建屋一階にある配管(II写真)から漏えいが発見されたことを発表し、漏えい箇所を特定するため使用済み燃料プールの冷却を一時停止し漏えいした弁の交換等対応を進めている。プール冷却は八日に再開した。

大間差止めでの初口頭弁論電発、訴え却下主張

神原経団連会長が女川視察

風評被害払拭に努力

この一週間の出来事

エネルギーを守るモノづくり、それは未来を守る技術。

あなたかな陽光を浴び、たっぷりとした水を吸い上げる樹木。大切な栄養を糧に、芽吹き、幹を伸ばし、枝を広げ、葉を茂らせる樹木は、長い時間をかけて着実に成長します。生き生きとした樹木は、澄んだ空気、清らかな水、豊かな土をはぐくみ、人々に多くの恵みをもたらすかけがえのない存在です。世界各地に揺るぎない姿で息づき、悠久の生命をつなぐ多彩な樹木は、人と地球の未来をひらく希望です。

私たち日立GEニュークリア・エナジーは、日立グループの総合力を発揮した信頼性の高いモノづくりで、地球の未来をひらく原子力事業をあらゆる場面でサポートしています。二酸化炭素を排出しない環境負荷の小さいエネルギーを、安定して供給し、快適な暮らしを支えること。私たちは、自然と共生する人間社会をテーマに、豊かで安心な、希望にあふれた未来を目指します。

日立GEニュークリア・エナジー株式会社

茨城県日立市幸町三丁目1番1号 / 東京本社 東京都千代田区外神田一丁目18番13号(秋葉原ダイビル)

<http://www.hitachi-hgne.co.jp/nuclear/index.html>